

2020 年度執行部スタート!! 組合員からの声を労働条件改善の第一歩に!!

長く働き続けられる職場環境、働きがいのある労働条件の実現をめざします

7月9日、医学部支部四役候補者が全員信任されました。7月21日に各職場や職種からの代表である執行委員を交えて第1回執行委員会を開催し、2020年度執行部の活動がスタートしました。今年度は、新型コロナウイルスの影響で全ての取り組みが例年よりも約1ヶ月遅れのスタートとなりました。8月18日に開催する第2回執行委員会では、各部会からの意見を元に2020年度医学部支部活動方針、予算の検討を行ないます。この執行部が提案する活動方針案・予算案を組合員の皆さんにご検討いただく場である定期総会の日程は、決まり次第組合ニュースにてお知らせします。議案書は、定期総会1週間前までに全員にお届けします。

新型コロナウイルスの感染拡大防止を念頭におきながらの1年になるかと思いますが、組合の取り組みへの皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

四役からのごあいさつ

組合の取り組みに
ご支援、ご協力を!!

支部長 石原 光浩 (病理診断科 臨床検査技師)

昨年度に引き続き、熊本大学教職員組合医学部支部支部長に信任いただきました病理診断科(病理部)に所属しております臨床検査技師の石原光浩です。

熊本大学教職員組合は、全国大学高専教職員組合の中で最も成果をあげている大学の一つです。安定した労働条件や雇用が保障されるよう粘り強く交渉等に取り組み、結果を残し組合の役割を果たしています。しかしながら、我々を取り巻く労働環境は日々変化しております。特に今回の新型コロナウイルス感染症への対応により、医療機関の経営困難が深刻な問題となり、夏の一時金(ボーナス)が全額カットあるいは昨年より減額されている医療機関が約3割にのぼることが日本医療労働組合連合会から発表されています。医療現場では、新型コロナウイルス患者を受け入れるかどうかに関わらず、常に感染リスクにさらされながら感染予防策をとりながら業務にあたっています。通常業務が加重になる上、極度の緊張感の中で働いている教職員にとって今回のようなボーナスカットは気持ちの糸が切れてしまい離職する教職員も増え、人手不足で深刻な事態になりかねません。東京都、大阪府などの都市部の病院の現状は感染拡大により熊大病院にも起こりえることです。

今年度は、感染の第2波に備え常に感染拡大防止策を講じながらの組合活動が必要になります。このような中ですが組合活動を通じて、組合員同士の親睦を深めると同時に、組合員からの要望など広くお聞きしながら団結し、安全で働き甲斐のある職場となる労働環境を目指すことは変わりません。なにとぞご理解を賜りますようご協力お願い申し上げます。

副支部長 松岡 亜祐美 (中央放射線部 看護師)

今年度初めて熊本大学教職員組合医学部支部の副支部長に信任していただきました中放放射線部看護師の松岡亜祐美です。初めて執行部として活動させていただきますので、わからない点など多々ありますが皆様の協力の下、働きやすい環境作り、働きたい環境作りを目指し頑張りたいと思います。今年度は、新型コロナウイルスに始まり、豪雨災害と苦難の年であります。どの大学病院もその影響は受けており、ボーナスカットや退職金の大幅カットなど世間でも注目を集めています。当院はボーナスこそ出ましたが、慢性的な人手不足や希望の年休取得の申請がしにくいなど様々な意見を伺っています。働きやすい職場にすることでスタッフのモチベーションは

向上し離職率の低下につながりひいては、患者さんに良い医療を提供できると思います。そのためにも多くの組合員の声が必要となります。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

副支部長 木原 裕二 (ME 機器技術部門 臨床工学技士)

今年度から新たに熊本大学教職員組合の医学部支部副支部長を務めさせていただきます、医療技術部門ME機器技術部門所属臨床工学技士の木原裕二です。役員選挙ではご信任くださりありがとうございました。この度初めて副支部長という役職を務めさせて頂くことになりました。今までに経験がなく不安な面もありますが、今年度医学部支部支部長を務められる石原さんをはじめ諸先輩方からのご指導、ご協力を頂きながら微力ながらも組合活動に貢献していきたいと思っております。

組合活動は組合員一人一人の意見が大切であり、皆様の意見が多く集まることで、よりよい組合活動に繋がると思っております。皆様の取り組みへのご協力をよろしくお願い致します。

書記長 中村 直子 (生命資源研究支援センター 技術専門職員)


生命資源研究・支援センターに配属されております技術専門職員の中村直子です。今年度初めて書記長としてご信任いただきました。昨年度までは医学部支部の副支部長を拝命しておりましたが、医学部支部内の組合員の皆さんのことをよくわかっているとは言いがたく、頼りない新米書記長ですが、いろいろなことでお困りの皆さんのお声を伺って大学へ届けることはできます。

医学部支部には、新型コロナウイルスの影響下であっても決まった時間に職場に行かなければできない仕事に従事する色々な職種の職員さんがたくさん働いていらっしゃいますが、今までになかった新たなお困りごとが発生していませんか? 熊本大学が、働きやすい職場、長く働きたいと思える職場に近づけるようお手伝いさせていただきます。是非皆様のいろいろなご意見・ご要望等をお聞かせ下さい。

書記次長 片山 亜希 (東病棟5階CCU 看護師)

今年度医学部支部の書記次長にご信任いただきました片山亜希です。信任していただきありがとうございます。今年度は新型コロナウイルス流行の影響で通常とは異なるスタートとなりました。組合が主催する職員同士の交流の場も今年度は開催が難しいかもしれません。病院全体の職場環境の改善を目指すには、まず各部署で働く組合員の皆様の意見が大切になります。2019年度より年5日の年休取得が義務付けられ取得日数が増えています。しかし、まだまだ人手不足や慢性的な超過勤務など改善すべき問題点は多いと思っております。日々業務をこなす中で何かお困りのことがありましたら、どうぞ組合までご意見をお寄せください。

初めての四役で至らない点も多いかと思いますが、皆様がより良い職場環境で働けるように尽力いたしますので、よろしく願いいたします。

組合ニュース	No. 1	熊本大学教職員組合医学部支部	
	2020. 7. 21	内線 5858 メール m-kumiai@union.kumamoto-u.ac.jp	